

2022年6月30日

第11期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

エフ・ジー・ジェイ株式会社

貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	1,839,906	(負債の部)	3,749,117
流動資産	1,227,564	流動負債	2,055,225
現金及び預金	6,873	買掛金	307,966
売掛金	444,026	短期借入金	1,095,720
商品	676,233	1年内返済長期借入金	261,372
貯蔵品	50,988	未払金	122,371
前払費用	22,032	未払費用	152,794
その他の資産	27,410	未払事業所税	455
		未払法人税等	1,873
		未払消費税等	28,070
		前受金	40,743
固定資産	612,341	預り金	4,304
有形固定資産	337,724	賞与引当金	34,553
建物附属設備	100,141	資産除去債務	5,000
器具及び備品	225,780		
建設仮勘定	11,803	固定負債	1,693,891
		長期借入金	1,666,059
無形固定資産	21,823	退職給付引当金	22,828
ソフトウェア	9,768	役員退職慰労引当金	5,004
施設利用権	868		
ソフトウェア仮勘定	11,187	(純資産の部)	△1,909,210
		株主資本	△1,909,210
投資その他の資産	252,793	資本金	5,000
投資有価証券	0	利益剰余金	△1,914,210
差入保証金	248,326	その他利益剰余金	△1,914,210
長期前払費用	4,466	繰越利益剰余金	△1,914,210
合 計	1,839,906	合 計	1,839,906

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等 移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商 品 総平均法

貯 蔵 品 総平均法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法によっております。

無形固定資産

定額法によっております。

4. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、期末退職金要支給額を計上しております。

役員退職慰労引当金

役員及び執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5. 収益及び費用の計上基準

商品の販売に係る収益認識

当社の顧客との契約から生じる収益は、商品の販売によるものであり、顧客に商品を販売した時点で収益を認識しております。なお、商品の販売のうち、当社が代理人に該当すると判断したものについては、顧客から受け取る対価の総額から仕入先に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識しております。

6. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

控除対象外消費税等の会計処理

控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。

7. 追加情報

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

会計上の見積りにおいては、新型コロナウイルス感染症による業績への影響が当面は残るものの、2022年度末に向けて緩やかに回復していく仮定を置いております。なお、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見積りには不確実性を伴うため、実際の結果はこの仮定と異なる場合があります。

当期純損益金額

当期純損失

419,503千円